

首都高メンテナンス神奈川 安全品質レポート

第6号
2018年 3月発行

年が明けてもう三か月目に入りました。1月には早速大雪が降り、協力会社並びに増援会社の方々のご助力の元、無事首都高全線開通致しました。ほぼ1週間という長期間ではありましたが、お足元の悪い中、沢山の皆様にお集まり頂き無事終えることができました。まずは御礼申し上げます。誠にありがとうございました。また雪凍対策期間は続きますが、引き続きお力添えをよろしくお願いいたします。

さて、今回は皆様にあまじなじみがない電気の話をお届けしていこうと思います。皆さんは**二重絶縁の電動工具**を使用していますか？その昔、電動工具を起因とした感電死亡事故が大変多かつたのをご存知の方もいらっしゃるかもしれません。現在でも、労働災害の種類

として、**電気を**

原因とした事故は72%（建設業・H28）

年確定値/建設業・H28）

発生しています。その

の**1割は死亡事故**で

あり、何故ここまで

重症化するのでしょうか。

平成29年12月



感電と火災



に開催された安全体感教育（職長のみ受講）でもその理由が周知されておりましたが、**人体に電気が通ると筋肉が硬直し、電源から離れられなくなってしまう**ためです。そして、感電死亡災害は**低圧**で起こった事故が多く、管理者・作業者の認識の甘さが原因とされています。

42Vは死にボルト

※濡れた状態で何かに感電すると死に至る恐れがある電圧の例えだそうです。

通常の工事で使用している**発電機は100V**のものが多くです。ボルトは電圧ですので、人間で言えば**血圧**のようなものであり、**A（アンペア）/電流量**とは関係ありません。**1Aでも10Aでも、100Vで流れます。**人間にも電気抵抗がありますので、すべての電流が流れるわけではありませんが、濡れた状態ならどうでしょう？その**意識の違いが致命傷**になりかねないのです。

感電事故は**夏場の汗をかいた状態で被覆の剥がれたコード**を触ったり、**アースを単管足場に繋いだ**状態で電動工具が漏電した時などに発生します。**被覆の剥がれた延長コードや電工ドラム**は使用せず、必ず**補修・交換**をお願い致します。手が濡れた状態で通電線に触る

と、手が乾いている時よりも6倍以上の電流が流れます。一般に致死電流は**50mA**以上と言われていますが、**ディスクグラインダー**で使用するのが大体**7A**（致死量の**140倍**）程度です。電気の通り道によっては**感電したら危険**です。これからの暖かい季節がやってきます。雨も多くなり、汗をかく機会が増えますので、屋外では屋外用の電工ドラムを使用するなど、是非お気をつけください。

平成30年2月1日～3月31日まで

首都高火災予防運動

ただ今実施中です！
電工ドラムを写真のように**巻いたまま使用**していませんか？

電工ドラムも電流を流すと、内部の電線の抵抗などにより**発熱**します。巻いたまま使用すると**放熱ができません**ため、被覆のビニールが熱で溶け、**電熱線が燃えることにより火災**となります。**定格電流**

この電工ドラムは**特殊加工**されています。絶対に真似しないでください！



ドラムの内側はこんなに**高温**!!



を守ることも大切です。**100V**の電工ドラムは**15A**が定格電流ですので、**ディスクグラインダー**が約**7A**であれば**2台使用が限界**です。それ以上使用すると、やはりコードが**異常発熱**し、火災になる恐れがあります。家庭のコンセントも同様です。これから春を迎え湿気も多くなってきました。トラッキング火災と併せて、家庭でも注意です！

12月12日（火） 生麦事業所にて VRを使用した安全体感教育を開催しました！

株式会社 明電舎様 ご協力の元、VR（バーチャルリアリティ）を使用した安全体感教育を開催しました！



会場の関係で協力会社各社より、職長さん数名のみご参加頂きましたが、大変好評を頂き、誠にありがとうございました。今回もまた、写真を交えてその様子をご紹介します♪

平成29年・30年
12月～2月の行事



安全帯
ぶら下がり体感

胴ベルト型



▲当日は首都高本社からも飛び入りでご参加頂きました！

謎の覆面集団...



.....VRの説明中です(謝)



フルハーネス型

定格電流以上の電流を使用すると...



人間の頭蓋骨はこの鉢と同じくらいの強度なの。当日はヘルメットを被って、上から金づちを落としても良かったけれど、鉢も壊れずへっちゃらだったわ☆
みんな、ちゃんとヘルメットを被ってお仕事してネ♪

ヘルメット担当
キャサリンさん

VR安全体感

高所からの転落・立ち馬からの転落をVRを使用して体感していただきました。リアル過ぎて転落を断念する方も...



高所からの転落



立ち馬からの転落

▲お仕事中のキャサリンさん。

編集後記～ちら裏～

お正月を迎えてあっという間に3月です。この安全品質レポートも昨年の2月から始まり、あっという間に1周年。今後も変わらず、安全品質レポートをよろしく
安全品質課 玉井
お願いいたします。

ご参加いただき、誠にありがとうございました！